

# 目黒区も、変わらないといけない。



## 目黒区の問題点 ①

### 次の世代へつながらない

**出生率** 一人の女性が一生のうちに産む子どもの数

目黒区 1.07人 (2017年)  
都平均 1.21人 国平均 1.43人

2人の夫婦から1.07人の子どもでは今のままの社会制度は維持できません。  
ただし現在、転入者により子どもの数は増加傾向。

## 目黒区の問題点 ②

### 仕事と子育ての両立が困難

**待機児童 330人** (2018年)

**ワースト8位** / 全国1,741市区町村

保育施設に入れないから…

〔育休延長・退職を強いられる  
ベビーシッターなどに依頼して多額の出費〕

自分のキャリアか子育てかの二者択一になってしまっている。

30年後、人口は  
こう変わる

(2018年推計)

日本 人口減少が進む  
30年間で2,000万人減少

一方…

目黒区 人口増加が続く  
30年間で2万人以上増加

0～4歳 現状維持→

5～19歳 増加↗

20～29歳 現状維持→

30～49歳 減少↘

50～59歳 増加↗のち減少↘

60歳～ 大幅増加↗

## 目黒区の問題点 ③

### 区政と若い世代との距離が遠い

**区政への関心**

10代・20代は3人に2人が関心なし (2017年)  
区議選投票率 20代は20.90% (2015年)

**めぐろ区報**

10代・20代は10人に1人しか見ていない (2017年)  
若者を意識した区政報告ができていない。

## 目黒区の問題点 ④

### 地域の中で経験と時間を活かせる場が少ない

**高齢者数**

今後30年間で  
約2万人増加 見込み

しかし…地域交流の機会やイベントが少なく、  
家の中での生活で完結してしまう。

知識や経験、伝統を伝えていく機会がない。  
家族だけの介護・子育て・防災はもう限界。

こんな

目黒

をつくりたい



若者世代

## 目黒の未来は自分たちでつくろう

- ・若い世代の思いを区政へ (区の計画に若い世代の意見を組み込む)
- ・区の情報を知りやすく (読みやすい『めぐろ区報』に刷新)

全ての方に

「いざ」というときに頼れる  
“つながり”づくり

- ・世代を越え、地域で見守り助け合う関係づくりを目指します



子育て世代

## 次の世代は みんなで育てる

- ・共働きでも子育て (保育所 & 学童の待機児童解消)
- ・夫婦だけでも子育て (ファミサポ事業の活用)
- ・個性を育む (部活動・文化事業の推進)

## 手ごたえのある日々を、目黒区で

- ・社会貢献で支え合う (ポイント付きボランティア)
- ・趣味でつながる (老人クラブ・サークルの充実)
- ・身体を動かして健康に (体操で介護予防)



高齢者世代

詳しい政策の中身については、公式ホームページをご参照ください。

(後援会) かいでん応援団

〒152-0013 目黒区南 1-1-11  
TEL.090-3145-1156

ご連絡は  
こちら

公式HP 内  
問い合わせフォーム

